

| くがあと10世紀 | 越え、国鉄短

2013年 8月10日 No.2 (410)

> 員、 Ŕ

四国旅客鉄道労働組合

4日 (JN) (マット) (マット

編集責任者/眞鍋健治

ľ

善の取り 大に開 四 特別代議 催した。 国労組 ①安全・安定・安心輸送の 組み等を柱とした運 王・安定・安心輸送の確立②組織の強化・拡大③労働環境の改大会スローガンとして「未来へ向かって「新たな挑戦!!」職員、傍聴者等、約170名の参加の下、第32回定期大会を盛は、7月5日・6日の両日、松山市「道後館」において、代 動方針を満場一 致で可決した。 第32回定期大会を盛後館」において、代 の改



け、未来へ向かって新りで、大来へ向かって新りで関係』を基軸に山地を基軸に山地のであるが、 動の継承に取り組ん新たな人材の発掘ともに次の時代に向けるうとしている今、 かなければならない。 組んで運んが

員長の愛媛支部松下委で始まり、大会準備委鍋執行委員の開会挨拶大会は13時から、眞 と訴えた。

プした。 だされ、 第2日目は、

兀

を選出し議事に入った。。を選出し議事に入った。。

題提起がなされた。 題提起がなされた。 題提起がなされた。 題提起がなされた。 題提起がなされた。 題提起がなされた。 大会には、連合四国 型 立され、2期目のスター では会議議長より大会宣 言案が提起され、承認 では会議議長より大会宣 ではったのでは、以前青年女 では、 1 の後、 1 の後、 2 期目のスター では、 2 期目のより、 2 期目のより、 2 期目のスター では、 2 期目のより、 2 期間のより、 2 知知のより、 2 期間のより、 2 用間のより、 2 用間のは、 2 用間のより、 2 用間のより、 2 用間のは、 2 用間のより、 2 用間のは、 2 用間のは、 2 ロー」で12 ジ

算報告が行われ、質疑り、一般経過報告・決 ・ 議事では、執行部よ <u>,</u> 第32回定期大会

不賓のみなさま

西

日

(順不同)

連合愛媛

大

木原 忠幸 会長長尾 伸夫 副議長長尾 伸夫 副議長大嶋 和浩 役社長大嶋 和浩 役社長大嶋 和浩 役社長 近藤 盛

四 国

+

四国地

四国地方本部 労働組合

国鉄労働組

| 横山 和美 | 全労済愛媛県本部 立川 幸一 本部區全国交運共済生協 四国事業本部 国労働金庫取締役総務部長 本部長事業本部

メンテナンス労働組合 代表取締役社長 信一 郎

[国会議員]

衆議院 議院 玉小三木川日 議員 雄淳 大造

|労働 ジェイアー 東海旅客鉄道 JR北海道労働組合 東日本労働組合 組合等 広中武 田谷内 ル 智則 司男

日本貨物鉄道産業 日本貨物鉄道産業 日本貨物鉄道産業 四国電力労働組合 四国地方連合会 労働組合 がループ 日本旅客鉄道 労働組合 では、 では、 では、 では、 の運営をは、 の運営を のである。 のでは、 のである。 のでは、 のである。 のでは、 のでは、 のである。 のでは、 のである。 のでのものでも のでのものできる。 のでは、 安全性を向上させること記されている。鉄道 保護する事はもちろん、とは、お客様の利益を することを目的とする」

先する重大な使命であちにとって、全てに優

執行委員長 輸送業務に携わる私た「安全の確保」は、

| 労働組合の安全活動 | とも難しくなる。 | 大きくなり刈り取るこ 察知し、「不 もに、働く者の

訴え、 実現して行きた

組織の強化・拡大に対して

|置しておくとぐんぐん
んでも出てくるが、放 のメリット、デメリ向けた取り組みは、 向けた取り組みは、「一企業・一組合」

平成 26

「不安全要因」 取り除くとと 解決を開発を 取るこ の組合員から指摘トル合わせは機能の は我々が目指してあるが、ある意思が、ある意思が、 ある意味当然のは全国単一組織の 指してきた、当然のの 理念と 能のしべ 多く なク

JR四国の労働環境は、 年度における、

安全・安定・安心輸送

物(要旨)

行委員

(敬称略)

四国本部 合 労働組合 たいと思っている。論し、意思統一を図りた共有し、しっかり議を共有し、しっかり議 避けられず、難しい局の労働条件の全てにこの労働条件の全てにこの労働条件の全でにこれが、我々にある。今後、この施 と訴えている。しかし、切な措置を図るべき」その他の公共交通に適部環境の変化に対し、 面を迎えることとなる。避けられず、難しい局 先行きは よる影響が甚大である そのような状況での、 、策による新たな外 今後、この施は極めて不透明 れることから、

その具体的な計

行っており、保全グルーループも当然のように プだけでなく、 考える 電気職

| 「事の設計は工事グルー 当初の狙いとは大きく | 当初の狙いとは大きく -化が実施さ て 6 ける 年

・建設工事、修繕(おり、保全グルー 保全グ

算の確保をお願いする。工務部会の活動をさしたい。 ザー制度の復活を提案 | ハード対策も必要であ | 事故防止に向けて、居 | 業務用自動車による

ると会社に訴えている。



を 有効だと認識している。 としてブラザー制度は な技術継承を行う手段 本部としても、確実

変更するべきであるとのであれば運転方法を

ブラザー

制度を廃止し

況である。 また、 若 手 状

嶋田副委員長



ホ

まし合い、しっかり取 の当選に向けた取り組 が なるが、厳しい選挙戦と ど、逃げず、支え、協 どの突風は感じないが、 がなるが、厳しい選挙戦と ど、逃げず、しっかり取 が、 が ときほ



いても調査し取り組む。 「契約社員車掌」制度 「契約社員車掌」制度 「契約社員車掌」制度 「契約社員車掌」制度 「対取り組む。併せて、 「対し、その実現に向いても意見を

質疑討論(要旨

織田原

代議員

を 実際、電気職場におけいてお聞きしたい。。 これらのこれ を 要員需給の考え方及び に から、体制の見直した が あると思われる。 今後の これらのこれ が ま で か ま で か ま

り組むことを要請する。

活性化をお願いしたい。一覧を同額を計上していまる。部会活動の更なるである。部会対策費の平成25 である。

ないことはご理解にならないことはご理解にならます。 は、本部としても経営 は、車撃が、運転が等で適正な要員ので、運転がでが、運転がでの関係でのといる。た は、車撃が、運転が、車撃が、運転が、車撃が、 は、本部としても経営 は、本部としても経営 は、本部としても経営 は、本部としても経営 は、本部としても経営 は、本部としても経営 は、本部としても経営 は、本部といる。

参入や撤退ダイヤ改正 、スにおける、「新高速 、大きな分 、大きな分

することが望ましいと から大型免許の取得も行われ すると思われる中、中 いる。2度手間とな から大型免許の取得も行われ 中、始めにも、始め ではなが望ましいと

向井

特別代議員

保全検査・工事等の業限られた要員のなかで

運間のが、大学のである。 では、一対策が必要である。 をは、大学である。 でのであれば、は、ホームとなるが、本るののであれば、は、ホームとなるが、本ののののである。 でのであれば、できるが、更なるからである。 でのである。 でのである。 でのワンマールでである。 でのアンマールでである。 でのアンマールでである。 でのアンマールでである。 でのアンマールである。 車両から乗降口を照ら夜間はまだ不安がある。 ミラーが導入されたが

転」で試験走行等によって試験走行等によって試験走行等によっては、会社に対し、

いきたいと考えている。、き続き加算額を求めて

たいと考えている。その上で、必要であれる。その上で、必要であれる。た理由等を確認したい。 特別代議員 (運転部会) | で初めて55% 員に対して加算額30,

夏季手当 歳以

Ĺ (T) 0 要

し、効果を検証してみのモニター設備を設置入時に、乗降口確認用 反射率の高いた

だきたい。 森 代議員 愛媛支部)

は効果があると考えて 中でいる。モニターの設置 たいる。モニターの設置 たいる。モニターの設置 たいる。モニターの設置 たいる。モニターを なったい。

から乗降口を照らすこれがより確実な乗降確 大がより確実な乗降確 をするために、車両 をするために、車両 とも効果があると考え

若手組合員が多くいる が、そのような組合員が、そのような組合員が、そのような組合員があるの増額や住 を創設していただきた を創設していただきた 毎年、社宅に入らず で四国全体での要員の でのまる。 では 減にも繋がると思われ 要がなくなり、経費削 生宅補給金を支払う必 に賃貸住宅に入居する 会社としても賃貸 も主張している。 の扱いにするべきだと士による車掌スイッチ 夏季手当については、

社員の持ち家取得に 対する優遇制度として、 対する優遇制度や住宅 村家住宅補給金の他に を有効に活用していた を有効に活用していた だきた

全を確保した上での運
セン運転について、安
地上運賃収受型ワン 納得して運転できるが、行であれば、運転士も ム検知用センサー (香川支部) 運転士も 運 安

等のハード対策が本運 門に至っていない状況 での試行が1年を越え での試行が1年を越え での試行が1年を越え を本気で訴えていただ を本気で訴えていただ を提案したい。 次代を担うリーダーを いう重要な任務がある。切り拓く運動を創ると 拓く運動を創ると

としては組織 大会後は良識ある国労 相合員については組織 大会後は良識ある国労 相合員については組織 が大の対象として、「今、 大会のがある国労が拡 はたが、国労四国はこ が、詳しく説明してい

が、詳しく説明してい

拡大の対象として組織 1きたが、 引ったついて取り ただきたい

中西

(香川支部) 代議員

適正な要員配置をお

願

対応が多くなっている。

いする。

にはいつ完成するの鳴門の乗泊所の囲

が監室

車両

0 外

車両検修業務

示すべきだと考える。向けた取り組み方針を がいない状況であるが、選挙区では推薦候補者のいては、香川、愛媛 |と考えている。 |今後も続けていきたい |化に向けた取り組みを

カ

長瀬

代議員

(本社支部)

合は返還する予定なの

嶋田副委員長

組合員が交渉委員とし 団体交渉に青年女性

で参加したことは過去 は新人事・賃金制度等 は新人事・賃金制度等 は新人事・賃金制度等 なった。次代を担うリー 交渉委員の追加をおこ 比例代表選挙への取り は、組みの強化をお願いする。高知、徳島選挙区 が、おいては、JR四国の鉄道を考 が、もお願いする。 もお願いする。 もお願いする。 もお願いする。 もお願いする。 もお願いする。 もお願いする。 そうでない国労組合員 を組織拡大の対象とし、

への配属数等進捗状況契約社員車掌の運転所

を教えていただきたへの配属数等進捗が

好

代議員 (本社支部)

と変わり、組織方針が

がこれ

ま

本部としても、 質田副委員長

た

用方法ないの安全対策がない。 一次である。 である。 であればずがなる。 にんればがなる。 にんればなる。 にんればなる。 にんればなる。 にんればなる。 にんなる。 にんなる。 にんなる。 にんなる。 にんなる。 にんな。 にんな。

ているの

井

(香川支部) (香川支部)

青年女性組合員 眞鍋執行委員 数

てある 年女性会議の育成・強 地会や新成人対応等幅 が会や新成人対応等幅 が会や新成人対応等幅 にく活動している。青 本部青女としてユ 600名を越えており、

 \Box 代議員

(性的な要員不足で超勤) ・ 徳島運転所では、慢・ **(徳島支部)**

また、今後、

余裕資金ができた場た、今後、ある程度

クアップをお願

れた時間の中で有

活

するとともに、将来を上を担うリーダーを育成人を担うリーダーを育成人をしていくため、次代日の国労組運動を継

に向けた組織の充実強 日まで「一企業一組合」

組織拡大の対象とし国労組合員について

「今大会後は良識あ今大会の組織方針

ける。 用方法の

佐藤

育年女性会議には、 (高知支部) 佐藤 代議員

合員に継³

に継承してい、若にながら、若に

本体から出 異動の 発令につ

動となる場合は14日前、

きた 今後ストライキ 返還が以前行われたが、 部返還してはどう のであれば再度 の予定

向先への異 たい。

両の全いの角野になった。 一次の角野になった。 一次の角野になれて、のるのでは、 一次がある。 一次ではなた。 一次ではない。 一次では、 一次では、 一次では、 一次では、 一次では、 一次では、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでは、 一のでである。 一のでは、 一の 制を構築していただき と技術継承ができる体 え、

| 教育等の組合活動のバット ためにも、組織拡大や | る若手プロパー社員の 関し、本部は、運転部 会から出された答申を 報合員の総意として真 がを受け止めている。 と考えている。 ただきたい。 る声が多いことを踏ま事前通知14日前を求め い、というのがあった。 業務対策委員会で

ニオンスクールでは、 動の充実について、ユ 組合員に対する教育活 ル プ労組

大谷執行委員

ただきたい。

することはない。 金ではなく、 ない。 生活 他に流用 援護資金

理解いただきたい。援護資金の必要性をご 過去に生 置を訴えているところ である。ただ、運転区 がにおいては車掌や運 がにおいては車掌や運 がで、全ての がないことはご理解い は、四国全体で考え、 が、区所によってば をが、区所によってば をが、区所によってば がある。本部と しても経営協議会等で のバックアップをして協力しながら組織拡大を職場の組合役員とも り組の きたいと考えている。 他の在 個 検修業務に従事の組合員は66名で メンテナ 記 66 名

たこともある。今後も、組合員も参加して頂い過去にはグループ労組組合員も参加しており、年代や役職別等まう、年代や役職別等 クレーション活動等にを図るべく、教育やレグループ労組の活性化 参加しやすい を検討したい 、環境作り

大西 (香川支部) 代議員

宮西

特別代議員

(高知支部)

本部としてもダイ

| が必要である。 | しっかり議論すること。 | けて組織問題について |

かった。

機が図られた。 一様の関連が図られた。 一様が図られた。

議員連絡会」、国の鉄道を考しる。具体的に

を開催

J R 四 国

18運

収すると見込ま

境づくりをお願いする。 境づくりをお願いする。 今後、女性が働ける環境を増えると思うが、 が増えると思うが、 が増えると思うが、 が増えると思うが、 がりでは、 一次では、 一次で

047名問題が終 上で、

差があると感じている。
R採用の組合員で温度験している組合員で温度 今後、 織拡大へ方針転換をた後は先祖返りし、 しながら組 教育の 織間 等

をお願いする。

(香川支部)

して ŋ 男

いるとおり、

り組みは議案書に記め女平等参画推進の

化等大規模な変更があせなく、複線化や高架改正を毎年行う必要性 る場合のみ行うことで 内容を付議している。 分であると考えて 経営協議会でその お 継承も図っていきた

の役割をはたしていたの番人である労働組合 ことのないよう、安全

> も数年で他部署へのい社員が配属となっ 高松管理駅分会では

囲

特別代議員

一ついては、駅に一分会組織のに

駅に限らず、織の活性化に

当てはまる課題である。運転区所等他の職場に

がイヤ改正の実施には だっているが、内容にあまり変化がない。 毎年ダイヤ改正が実

(徳島支部) まラー確認ができるよいないである。そうなっていないる。そうなっていないないないである。そうなっていないのでは、 運転席のガラス越しにを確認するのではなく、は、貫通路越しにミラー

だきた

安廣

浅議員

大谷執行委員

り、

若

ても数年で他部署

きたい。

川本 特別代議員 (高知支部)



工期を伸ばす等のできないのであれている。要員の強

ている。をするよう会社に

え

ている。要員の増加は本部が

も認業

のれば、がは、が、

ただきた

らず、雨天時等にはホート 大田ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて ではないと感じて

7 10年を越えて国労四年でのできた。今回元の10年間の総括では、この10年間の総括である。今回元のでは、10年を越えて国労四年ののが10年を越えて国労四年を超えて国労四年を超えて国労四年を超れて国労四

をお願いする。びワイパーの である。

も、一企業一組合

合に

|労四国は全く応えな

重要度は増してな職場での契約社

契約社員

ムミラー

- の確認が

困

元の方針に戻すことが

重要であ

る。

車の導入をお願いする。車両の故障によっる。車両の故障によっないよう新することのないようがいる。車両が関係によってお客さまへ迷惑をからない。

る。車両の故障によっ車両故障が多発していすることとなるなど、することとなるなど、

救援列車を手配

ŋ \mathcal{O} 政策課題実現により前は民主党政権で多くの経営環境及び労働環境

ます重要となる。この参画の取り組みがます加しており、男女平等 参画の取り知が近年女性の り組みがますり、男女平等性組合員が増

は、 は、 は、 は、 は、 は、 での技術継承を考慮 は、 での技術継承を分会 での技術継承を分会 での技術継承を分会 でのが現状である。業務 (高知支部) (香川支部)

そ特例業務勘定 **岐権だか**

井村

取税の減免措置等がな大援策の実施や税制特別がある。 の鉄道を考える議員フォー 定利益 らこ

学で恩返しする必要が 対 大変お世話になった でとからも、今回の選 一四国の経営安定化に向 でとからも、今回の鉄道を ことからも、今回の鉄道を が展の国会議員連絡会 が展の国会議員連絡会 が見の経営を定化に向 での選 る。

岡本 代議員

しっかり取り組んでい
JR四国労組としても

交通基本法は昨

年、

種での技術継承を確実会社に対しては、各職 に行うよう訴えている。 性組合員との意見交性組合員との意見を明確している。 性組合員は今後も増え を引き続き行いたいと を引き続き行いたいと を引き続き行いたいと を引き続き行いたいと 性を訴えている。用を守る仕組みの ては、 した以上、 社員として採 定年まで 雇用い女

対応につ ただきた

有藤

(高知支部)

めげると考える。 すれば速度超過車 応について教えて、労働契約法の改正

ま続き迅速な対応をしき続き迅速な対応をしまれる。 この問題に対しては引きがある。 でいく。 記の 上げられ最終的に引き ただきたい。 がなるが、90%となるが、同時に、退職時に、退職の社員の組んでいると考える。 平がなくなると考える。 平がなくなると考える。 平がなくなると考える。 平がなくなると考える。 平がなくなると考える。 平がなくなると考える。 平がなくなると考える。 中に、退職時期についると考える。 中に、退職時期についると考える。 中に、近職時期についると考える。 中に、近職時期についると考える。 中に、近職時期についると考える。 中に、近職時期についると考える。 中に、近職時期についると考える。 中に、近職時期についると考える。 月末での退職ではなく、踏まえつつ、誕生月のいても、本人の意向を同時に、退職時期につ



ること及び退職時期をの翌年度からに統一すること及び退職を誕生月の本給の減額を誕生月の本給の減額を誕生月の プを目指していきたい本部としても更なるアッ まで引き上げられるが、金は今後段階的に81% 金は今後段階的に81% 55歳以降の社員の倭**嶋田副委員長** 8 % | 主党の国土交通部門会 | 1 でいる。 | 1 でいる。 | 1 でいる。 | 2 でいる。 | 1 でいる。 | 2 でいる。 | 3 でいる。 | 4 でいる。 | 5 でいる。 | 6 でいる。 | 7 でいる。 |

ととなる。

横田 特別代議員 (工務部会)

を昨り 対する対策として、徐行区間の速度超過

改正への対応を行うこ 国の契約社員は1年間 国の契約社員は1年間 をである。今後、労働契約法の改正内容である。 るという改正内容であるという改正内容であるというの対応を行うにいる。 を行うことになる。 であるというの対応を行うことになる。 であるというのが、ことになる。 であると、ことになる。 であると、ことになる。 であると、ことになる。 であると、ことになる。 できなる。 できなる。 であると、ことになる。 である。 である。 でする。 でする。

に に向かって何を残す必 提に、JR四国労組の 理があるのか、きちん で改革・継承」は引き で改革・継承」は引き 回のスローガンとした。出すことを目指して今 スロー ガンで あった



ワー

マープのカウンター業 用できず、そのため、 用できず、そのため、 代替要員 を必要とする場合は使 を必要とする場合は使 なくても対処できると、あれば、代替要員がい、半日程度で 🖫 考えるので、 あれば、 るようにしていただき も半休制度が 務に従事する者は 代替要員の年次有給 使用でき ワープで 使 業 用 使員

池田

議員

世が多く、カウンター は職しなくても済むよっ うな制度として、産休 うな制度として、産休 が、それを理由に、 が、とれない。その が、それを理由に、 が、とれない。その が、とれない。その が、とれない。その が、とれない。その が、とれない。その が、とれない。との が、とれない。との が、とれない。との が、との が との が 思うが、 ンター 不足状態である。 どの 職 は契約社員の ワー 場も プも 同じだと カウ 要員 女

が前は 助

(本社支部)

を目指す動機付けとなる 動務ができるようになった。本社勤務についても本社でりる。 有手社員が本社勤務についている。 があり、現在はそのの自覚の向上、また、 を目指すという体制でいる。 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 が、現在はそののは、 の自覚の向上、また、 の自覚の向上、また、 の自覚の向上、また、 役·非 現 業 あらかじめ登録して期間の代替要員として

(案) について、1

昨 ガ 年ン

中濱委員長

ことを目的として本社 いまがまな状況なのか教えてい 事がまで要望する。 かまの新設を要望する。 かまがれるのような状況なのか教えてい ことを目的として本社 いただきたい。 のなものを創設してみりなものを創設してみりなものを創設してみます。 用するという派遣制度

半休制度は

制度は、

 $\widehat{1}$

勤 日

(2勤

411

勤務を指定され

ても会社に対

し改善を

針を示す其案は交通が

ことについ

強したい

案となったが、こ衆議院解散に伴っ

に伴って

型政策全般のよったが、この! 基本法である。

指法廃

で誕は生

なく、

のいては今後勉し、誕生月の属い月末での退職

特別代議員 有本

代議員 (自動車支部)

塩田



して

は夏季でもネ 対し感謝申し上げる。 夏季賞与2 5カ月

装を取り入れるべきだけられているが、クーけられているが、クークタイの着用が義務づ える。乗務員が安全運動係のない業務指示も安全・安定輸送に直接 境を求めて欲しい。転に集中できる職場環 スの基本給は55歳以降ジェイアール四国バ 環

でいる。総合労働協約でいる。総合労働協約では、本部としてもそいる。とはである。というのは、本部としてもその対象ができる。 入れたいと考えている。交渉時に引き続き申し ついては、本部としワープの制服の軽装 て頂きた

いきたハ。 大谷執行委員

取り

ただきた

平齢者の働き方等い60歳以降も含めい、会社側も賃 ケジュール感をもって 組合としても鉄道の抜 は必要なものであり、 四国にとって高速鉄道 具体的目標を掲げ 組むことが重要である。

鬼塚

(運転部会)

「支え合いの精神」で、も、組合の原点であるし入れる。分会として と労働環境改善等を申 まで余裕がない。さこなすだけで技術がであり、日頃の業績 検修職 場 も人手 業務を

ションの充実を更に図っ 日頃からのコミュニケー (本社支部) 代議員 い理に戻す という という という な人員の確かな人員の確かな人員の確かないする。 でまで余裕がない。 をして、 臨時取りををして、 臨時取りをををををして、 のででででです。 できるが、引きない。 できるが、 のででですが、 なったが、 のでででですが、 なったが、 のでででです。 できるが、 のででです。 できるが、 のでです。 できるが、 のでです。 できるが、 のでです。 できるが、 のでです。 できるが、 のでするが、 のできるが、 のできるが、 のできるが、 のでするが、 のできるが、 のできないが、 のできるが、 のできないが、 のできない

りただきたい 増額を引きな

弓立 (徳島支部) 特別代議員

育児休暇を一日でも

管理者等資格試験合

(本社支部) (本社支部)

なのか。また、今後、りなのか。また、今後、内となっているが、他労組と比較した場合、この金額は妥当な水準この金額は妥当な水準



(香川支部)

中間

いする。

夜

間特殊業務手当

- め、人員の確保をお願 や 対改訂で休日が増えて の。これでは、労働協 化をおる 引き続 願 き取り組みの 似いする。

る。これでは、労働協休日にも仕事をしてい ガースが 一男が 強

ビス残業が多くあり、松山保線区ではサー

保線区では

が少なくなると考える。児休暇を取得する社員にのような制度では育 度への改善を求めてい育児に関しより良い制 カットされると聞いた。取得すれば定期昇給が (愛媛支部) 大量退職により組合費 のやせい組合員にも分かい で若い組合員にも分かい で表になった経緯につい で若い組合員にも分かい を求めかい で表し引いた経緯につい で若い組合員にも分かい を求めかい を求めかい を求めなっ きたい。 工務系職場の若手:



に扱っていただきたい。 「大卒採用の社員に比べ」 等級の違いは納得でき がと考える。入社時の がと考える。入社時の るが、試験合格後の昇 をが、試験合格後の昇 をが、対験の をが、対

若手社員が少なく、

むよう

立 石 (徳島支部) 代議員

での発言以外で現場の での発言以外で現場の での発言以外で現場の での発言以外で現場の 職場対話行動や定期大会 での発言以外で現場の での発言以外で現場の での発言以外で現場の でのように吸い上 | すているのよ

眞鍋執行委員 お高速鉄道の必要 お高速鉄道の必要 お高速鉄道の必要 はた取り組みを続 とし

て議論したい。

り組みを続けて 鉄道の導入に向 、引き続

かり取り組みたい。ついても、引き続きしっついても、引き続きしっ

テナンスで検査をしたジェイアール四国メン

臨時検査をした際

2 0 0

0系の

速度

を本体直轄とすることである。出ているも出されては、運転部会しているのは当然のは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのは当ればりのはいる。 率的である。交番検査 査をしているのは非効 うえに、本体で再度検 職場場が 分会においても 意見 毎年春に 2話行動は 7.話を1.行 動行**長** 全て いのる り組んできた。

のの ので活用 活用していただき見集約をしているにおいても組合員 を する上で看過できない 事故が発生している。 事故は労使の責任で なる。安全は企業風土

引き続き求めていきた料殊業務手当の増額を本部としても、夜間 いと考えている。引き続き求めてい 今後の第二基本給制

三好 特別代議員 (香川支部)

を対して、 の系車両の運転を取り した。安全に支障があい。 を対した場合では、同型車両全での運転を取りやめるくらいである。 事故防止に取り組む必 を訴えていただき、 たい。 本部としても、と対応する。 ても会社に対しきち

れ確認していきたい。 性などを会社に申し入 度のあり方や考え方に が、厳正な取扱いを会ので現状は分からない実態を調査していないないにないにない。 理者等資格試験合

組合は安全についてチェッーと言えるように、労働

管

| 「本で野米」 | 「一本に対して申し入れる。 | 「本に対して申し入れる。 | 「本に対して申し入れる。 | 「ので野米」 き安全最優先で取り組合。社に対しては、引き続事故防止に関し、会 動を展開していき現化に向け、一年かり受け止め、そ 一め、その具 、 き 年 た 間 い運 ク機能を果たすと共に、 たければならない。 へ なければならない。 なければならないのが は会社がキチー はいか はならないのが はならないの から なければならない。 なければならない。 なければならない。 なければならない。 なければならない。 なければならない。 続き、

JR四国労組 、安全・安定・安民四国労組は引き

引き

確保を絶対条件として、 まぇに 定期昇給の

「2014春闘」

は

25

年

度

#

強

の組織にお課題で忘れ

たが、多度津工場も要に関する発言があったが、多度津工場も要

員不足状態である。

ま

は、各担当から答弁し ら討論がなされた。 「個別の質疑について が表現のでで、直面する」 は、各担当から将来展望に は、各担当から将来展望に では、各担当から将来展望に は、各担当から将来展望に こるように未来へ向かったいう大きな節目を超し 識した中で、直面するて新たな挑戦!! を意 J を引き起こさせない体 を引き起こさせない体 を引き起こさせない体 を引き起こさせない体 を引き起こさせない体

労働環境の改善に大限取り組んで行く。

つい

各支部定期大会開催日程

思統一を図ることとす

る。

川支部

とで、

本部としても最

制度改善要求については、労働時間短縮等のに四国バスの賃金引き上しまた、ジェイアールと

旨を十分踏まえた上で、以上、申し上げた主 各職場で徹底した議論

要請し、

、請し、

総括答弁とす

る。

が急務であるというこ

を担う役員の要なる数

一う役員の育成強化更なる強化と次代

改善に取 じめとする労働

ジェイアー・吸り組む。

る。

ŧ, 環

0

取り組みを要請す候補の必勝に向け

一なって取り組むことを一面する諸課題解決に向した。

境

2

ることとする。

方を申し上げる。たので、当面する4点

は

確

保できたと

政策課題実現の 取り組みに

現にの

取

組みでも明られ

つかなよう

高知支部

ホテル

サン

ルート

瀬戸大橋

8月31日

 Ξ

13

時

9月1日

自

14

高知市

高知城ホー

考える。

啦

国労組 点は今後、

大との認識のもと、今で 盤の確立に向けて不可で 要課題であり、経営基 である。とのでは最重い て最大の使命であると (**送の確立」について** (**送の確な」について** (**送の確保**は、鉄道事業 (**でままま**) 日まで労使を挙げて取

愛媛支部

本社支部

9月11日

(水) 18 蒔40分

センチュリーホテル

松山市

9月7日

東京第一ホテル (土) 13時

13

自動車支部

9月5日

金

13

時

ホテルサン

ルート

瀬戸大橋

徳島支部

9月2日

月

14

徳島市

ホテルクレメント

徳島

と確信を持つて行動す運動を活性化し、自信

し、即ち、狙戦うでであること、即ち、狙戦のと整えることとは、我々の組織においても足下した。 と 課題で忘れてはならな また、組織における い ことが基本になると考め せるなど、総合生活改 おところから実を結ば るところから実を結び 善全般を含めて、で えている。 請組沿部が言うなは、「第20年間で13十分ではとは、「第20年間で13年間で13年間で13年間ではとび、「第20年間ではとび、「第20年間ではとび、「第20年間ではなが、第30年では、「第20年間では、19年間では、19 会は、冒

1 1 本 部 執行 委員会開

の委 لح 員 こおりである。貝会での議事 事

④ ③ ② ① 【 員第に年名担平定特議 会一つ間簿及成に別事 7 委任 員 員務 0 会分 指

平に広平 つ報成 委25 員年 会度 の教 に対 ユ 開育 つ策 い委 催



催 は 7 営委員 に会っ

女員会の日本 (第2] 開回 催 に執

・ ⑧ つ行 変期 他 て 員 (

次

役会議の開催について会の開催について会の開催について